



平成25年10月号



概況

最近の県内経済は、一部に一服感がうかがわれるものの、全体としては持ち直しの動きが続いている。

まず、個人消費関連をみると、大型小売店販売は2ヶ月連続のマイナスとなった。自動車販売は届出車がプラスとなったものの、登録車はマイナスとなり、合計では8ヶ月連続のマイナスとなった。

住宅建設は分譲住宅が減少したものの、持家、貸家が増加し、全体では6ヶ月連続のプラスとなった。公共投資は市町村、地方公社・その他が増加したものの、国、独立行政法人等、県が減少し、4ヶ月ぶりのマイナスとなった。

生産関連の動きをみると、鉱工業生産指数は前月比6.3%低下の100.5となった。24年県産リンゴ販売は県外市場販売額が7年ぶりに700億円を下回った。八戸港水揚げは数量、金額とも大幅に減少した。

この間の雇用情勢は、有効求人倍率が前月比横ばいの0.70倍となり、4ヶ月連続で0.7倍台と高水準を維持している。

個人消費 8月の**大型小売店販売額**(速報ベース、店舗調整後)は前年同月比1.4%減と2ヶ月連続のマイナスとなった。業態別では百貨店が同0.9%増となったものの、スーパーは同2.0%減となった。8月の**自動車販売台数**は登録車、届出車(軽自動車)合計が前年同月比6.0%減の4,105台と8ヶ月連続のマイナスとなった。登録車が同17.3%減と8ヶ月連続のマイナス、届出車は同9.8%増と3ヶ月連続のプラスとなった。

住宅投資 8月の**新設住宅着工戸数**は全体で前年同月比29.1%増の612戸と6ヶ月連続のプラスとなった。分譲住宅が同41.2%減となったものの、持家は同31.0%増、貸家は同33.3%増となった。

公共投資 8月の**公共工事請負額**は全体で前年同月比14.2%減の216億7,500万円と4ヶ月ぶりのマイナスとなった。市町村が同15.7%増、地方公社・その他が同約12億円増となったものの、国は同22.4%減、独立行政法人等は同94.8%減、県は同4.8%減となった。

一次産業 農林水産省東北農政局の調査によると、**25年産水稻**の作況指数(9月15日現在)は青森地帯が106、津軽地帯が105、南部・下北地帯が103で、県平均は105と見込まれている。**24年県産リンゴ販売**の年間累計は県外出荷量が前年産比27.6%増となったものの、県外市場販売額は同5.5%減となり、7年ぶりに700億円を下回った。8月の**八戸港水揚げ**は数量が前年同月比53.3%減、金額が同22.7%減と、数量、金額とも大幅に減少した。

生産活動 7月の**鉱工業生産指数**(季節調整値)は前月比6.3%低下の100.5となった。原指数では前年同月比3.6%上昇の109.1となった。電子部品・デバイス、パルプ・紙が上昇したものの、化学、鉄鋼などの低下が全体を押し下げた。

一 次 産 業

米

25 年産米、作況指数は「105」

農林水産省東北農政局の調査によると、青森県の平成 25 年産水稻の県平均作柄(9 月 15 日現在)は、10a あたりの予想収量が 611kg、作況指数は「105」と見込まれており、東北平均を上回っている。平年と比べると、穂数が「平年並み」、1 穂当たりもみ数、全もみ数が「やや多い」、登熟が「平年並み」と見込まれている。

作柄表示地帯別にみると、登熟は青森、津軽地帯が「平年並み」、南部・下北地帯が「良」と見込まれている。10a 当たりの予想収量と作況指数をみると、青森地帯は 604kg の「106」、津軽地帯が 639kg の「105」、南部・下北地帯が 557kg の「103」と、いずれも平年を上回る作柄が見込まれている。

25年産水稻の作柄概況(9月15日現在)

作柄表示地帯	10a当たり (kg)		作況指数	穂数の多少	1穂当たり もみ数の多少	全もみ数 の多少	登熟の良否
	予想収量	平年収量					
青森県平均	611	584	105	平年並み	やや多い	やや多い	平年並み
青森地帯	604	570	106	平年並み	やや多い	やや多い	平年並み
津軽地帯	639	609	105	平年並み	やや多い	やや多い	平年並み
南部・下北地帯	557	540	103	少ない	多い	やや少ない	良
東北平均	572	559	102	やや少ない	やや多い	やや多い	平年並み

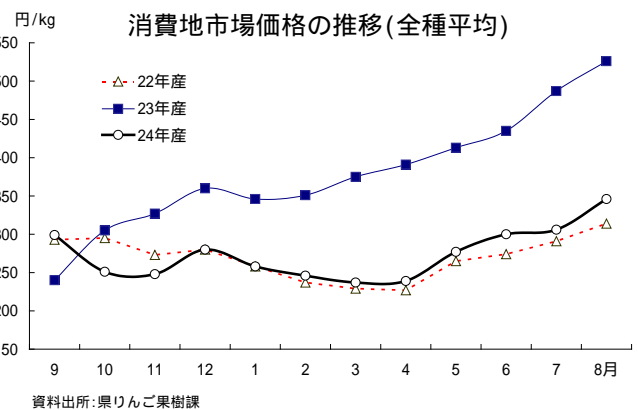
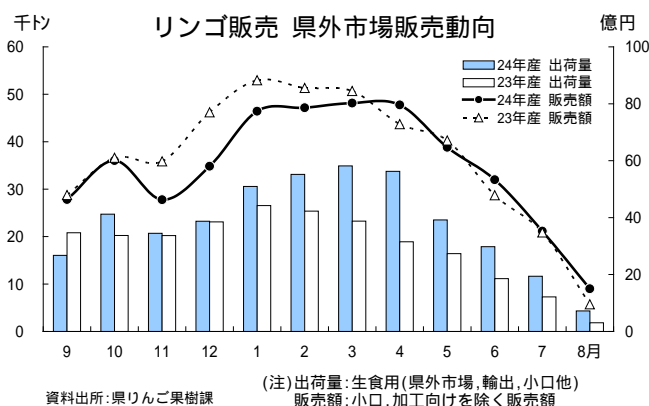
(注) 穂数の多少、もみ数、登熟の良否は平年比較
資料出所:農林水産省東北農政局

りんご

24 年産の県外市場販売額、7 年ぶりに 700 億円を下回る

24 年県産りんご販売、8 月の県外出荷量は前年同月比 137.6%増の 4,336 トン、県外市場販売額は同 57.1%増の 15 億 2 百万円となった。価格面をみると、消費地市場価格は品種合計で同 34.2%低下の 346 円/kg となった。

24 年産の累計では県外出荷量が前年産比 27.6%増の 27 万 4,892 トンとなったものの、消費地市場価格は同 27.7%低下の 263/kg となった。この結果、県外市場販売額は同 5.5%減の 696 億 30 百万円と前年産を幾分下回り、17 年産(683 億 13 百万円)以来 7 年ぶりに 700 億円を下回った。中庸 3 ヶ年平均(19,21,22 年産)と比較すると、消費地市場価格がほぼ同水準の 1.5%低下だったものの、県外出荷量が 6.7%減となり、県外市場販売額は 7.7%減となった。

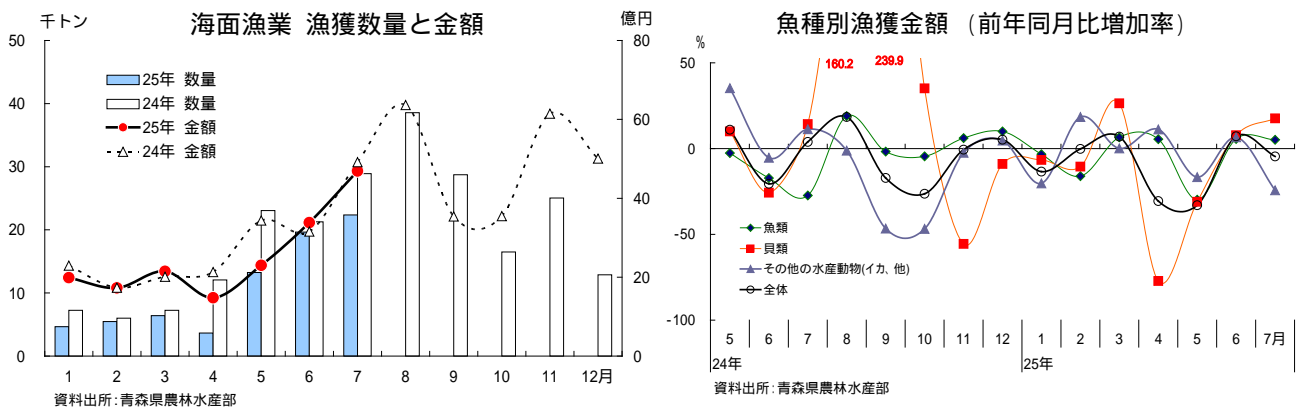


海面漁業

漁獲数量、金額ともにマイナス

7月の本県海面漁業は、漁獲数量が前年同月比22.7%減の2万2,358トン、漁獲金額は同4.6%減の46億9,134万円となった。

主な魚種別にみると、「魚類」は数量が前年同月比1.3%減の3,960トン、金額は同5.1%増の9億8,376万円となった。マイワシが大幅に落ち込む一方で、サバや単価の高いヒラメなどが増加した。「貝類」は数量が同10.2%減の1万4,022トン、金額は同17.6%増の21億9,642万円となった。ホタテガイの水揚げは新貝が落ち込んだものの、単価の高い成貝が増加した。イカなどの「その他の水産動物」は数量が同50.5%減の4,285トン、金額が同24.3%減の14億8,663万円とともに大幅に落ち込んだ。アカイカ(近海)の水揚げが増加したものの、スルメイカ(近海)が大幅に落ち込んだほか、ヤリイカ、ホヤなども前年を下回った。

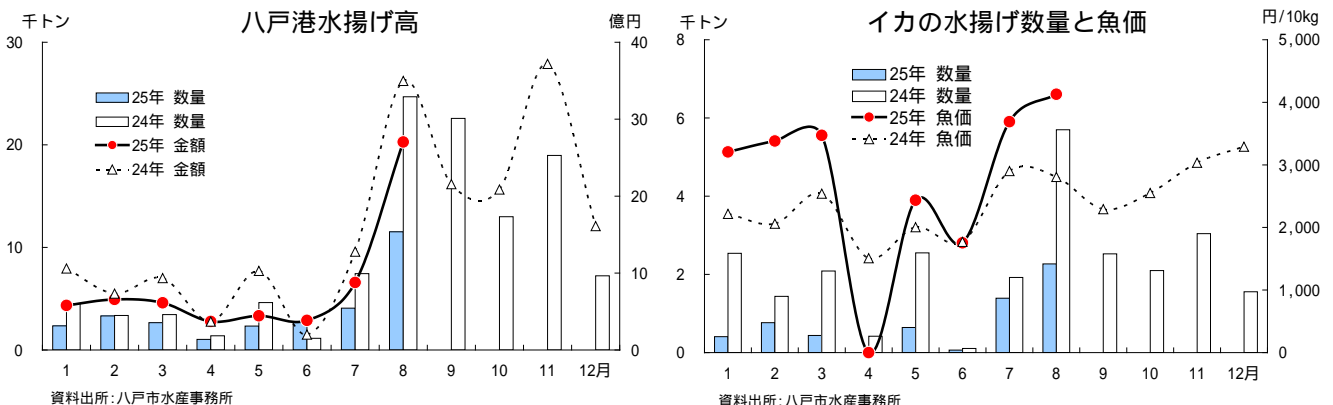


八戸港水揚げ

水揚げ数量、金額とも前年同月比大幅減

8月の八戸港水揚げは、数量が前年同月比53.3%減の1万1,521トン、金額が同22.7%減の27億385万円と、数量、金額とも大幅に減少した。

イカ釣り漁は船凍スルメイカの水揚げが落ち込んだほか、近海スルメイカ、船凍アカイカも前年を下回り、数量が同60.2%減の2,267トン、金額が同41.5%減の9億3,582万円と大幅に落ち込んだ。一方、平均単価は同47.1%上昇の4,128円/10kgとなり、品不足から高値が続いている。大中型旋網漁はサバ、スルメイカの水揚げが振るわず数量が同51.8%減の8,459トンとなったものの、魚価の上昇により金額は同9.2%減の14億4,190万円にとどまった。機船底引き網漁は数量が同36.7%減の186トンとなったものの、魚価の高いキンキンなど赤物の割合が高く、金額は同7.1%減の1億7,962万円にとどまった。



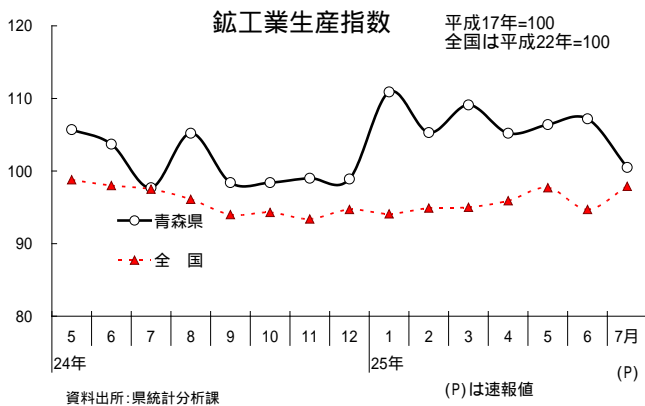
二 次 産 業

鉱工業生産

鉱工業生産指数、前月比 6.3%低下の 100.5

7月の鉱工業生産指数(季節調整済速報値、平成17年=100)は前月比6.3%低下の100.5となった。主要6業種をみると、一般機械が同3.6%、鉄鋼が同10.4%、電気機械が同6.6%それぞれ低下した。一方、ウェイトの高い食料品は同2.0%、電子部品・デバイスは同20.7%、パルプ・紙は同65.5%それぞれ上昇した。このほかでは化学が同85.7%、金属製品が同6.8%、窯業・土石が同0.8%それぞれ低下した。原指数では前年同月比3.6%上昇の109.1となった。

当月は電子部品・デバイス、パルプ・紙が上昇したものの、化学、鉄鋼などの低下が全体を押し下げた。全体としては生産指数が7ヶ月連続で100を超えるなど、高めの生産水準を維持している。



業種別生産指数(平成25年7月)

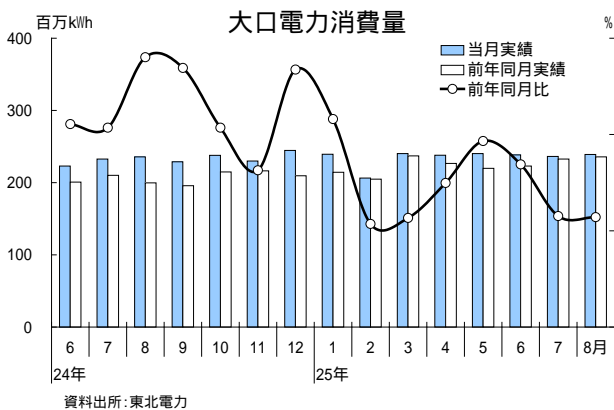
業 種 ()内は一万分比ウェイト	季節調整済指数		原 指 数	
	平成17年 =100	前月比 (%)	平成17年 =100	前年同月 比(%)
鉱 工 業 (10000.0)	100.5	6.3	109.1	3.6
食 料 品 (2249.0)	97.2	2.0	98.4	1.8
一 般 機 械 (1254.7)	131.5	3.6	153.4	15.9
電 子 部 品・デ バ イ ス (1106.8)	147.8	20.7	154.8	20.4
鉄 鋼 (1008.6)	98.6	10.4	103.2	0.9
パ ル プ・紙 (807.5)	83.6	65.5	87.0	12.5
電 気 機 械 (550.4)	146.3	6.6	162.0	24.9

資料出所: 県統計分析課

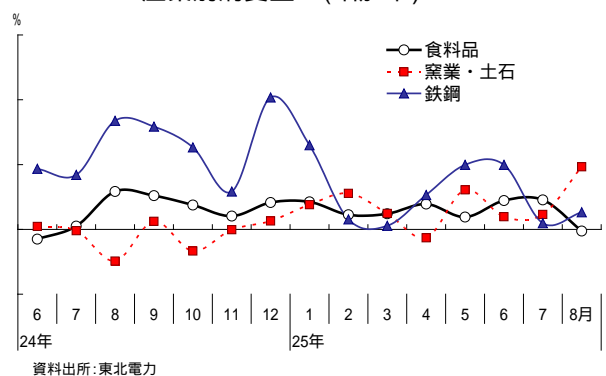
大口電力

大口電力消費量、19ヶ月連続のプラス

8月の県内大口電力消費量は、前年同月比1.4%増の2億3,899万kWhとなり、19ヶ月連続のプラスとなった。うち製造業は同3.5%増の1億7,319万kWhとなった。製造業の大口電力消費量を主要業種別にみると、窯業・土石が同19.3%増、化学が同10.2%増、消費ウェイトの高い鉄鋼が同5.3%増、パルプ・紙が同4.9%増、機械が同0.1%増となった。一方、非鉄金属は同6.4%減、食料品は同0.5%減となった。県内大口電力消費量は鉄鋼、窯業・土石、機械などが前年を上回る動きが続いている。また、食料品、非鉄金属は小幅な減少幅にとどまっており、全体的に堅調な操業が続いていることがうかがわれる。



産業別消費量 (増加率)

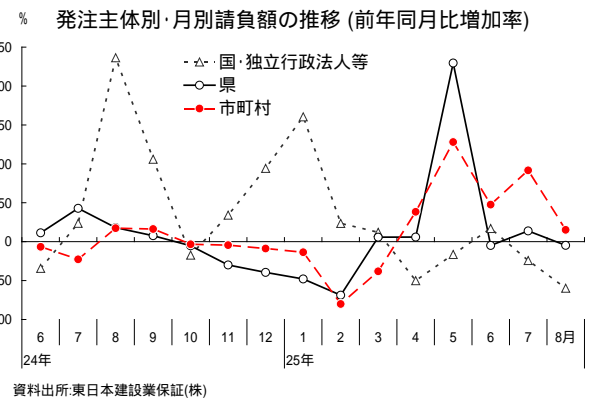
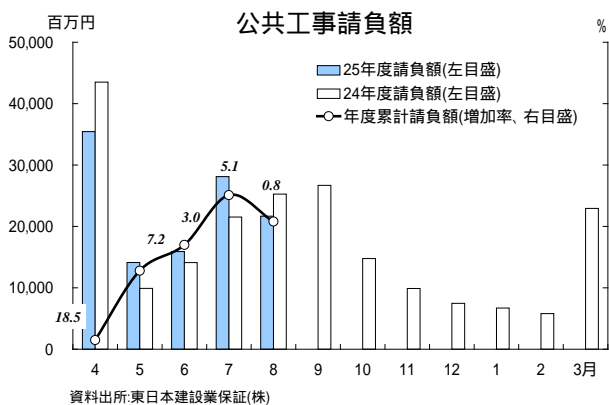


公共工事

前年同月比 14.2%減、4ヶ月ぶりのマイナス

8月の東日本建設業保証(株)の保証取扱いによる公共工事請負額は、前年同月比 14.2%減の 216 億 7,500 万円となった。当月の請負額は、国が防衛省、国土交通省の減少により同 22.4%減の 35 億 3,300 万円、独立行政法人等が弘前大学関連、鉄道建設・運輸施設整備支援機構で全減となり同 94.8%減の 2 億 5,300 万円、県が県土整備部関連(東青地域県民局など)で増加したものの、農林水産部関連(西北地域県民局など)の減少により同 4.8%減の 72 億 8,500 万円とそれぞれ減少した。一方、市町村は六ヶ所村、むつ市、つがる市などの増加により同 15.7%増の 85 億 4,800 万円、また、弘前地区環境整備事務組合など地方公社・その他で同約 12 億円増加した。

当月は新幹線関連など独立行政法人等の落ち込み(約 46 億円)が全体を押し下げ、公共工事請負額は 4ヶ月ぶりにマイナスに転じた。

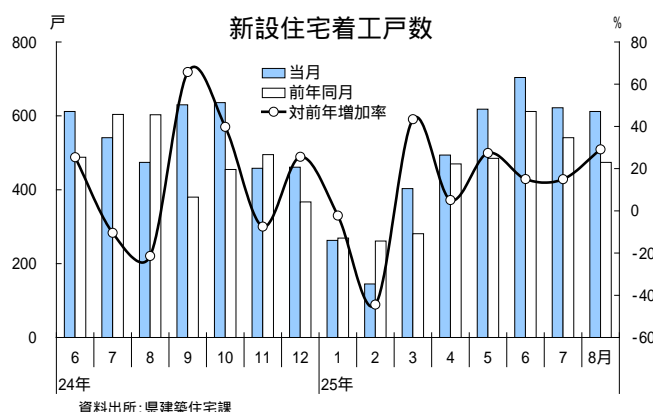


住宅着工

6ヶ月連続のプラス、前年同月比 29.1%増

8月の県内新設住宅着工戸数は、前年同月比 29.1%増の 612 戸と 6ヶ月連続のプラスとなった。利用関係別では、持家が同 31.0%増、貸家が同 33.3%増、分譲住宅は同 41.2%減となった。地域別にみると、弘前市、十和田市、三沢市で減少したものの、他の市部、郡部で増加した。持家は青森市、八戸市、黒石市、五所川原市、十和田市、むつ市、つがる市、平川市で大幅に増加した。貸家は青森市、八戸市で減少したものの、五所川原市、むつ市、郡部で大幅に増加した。分譲住宅は弘前市、郡部などで減少した。

県内の住宅着工は持家が 12ヶ月連続、貸家が 3ヶ月連続のプラスとなった。消費税引き上げ前の駆け込み需要などからこのところ好調なペースで推移している。



	25年 8月	24年 8月	前年 同月比
持家	440	336	31.0
貸家	160	120	33.3
給与住宅	2	1	100.0
分譲住宅	10	17	41.2
総戸数	612	474	29.1

資料出所:県建築住宅課

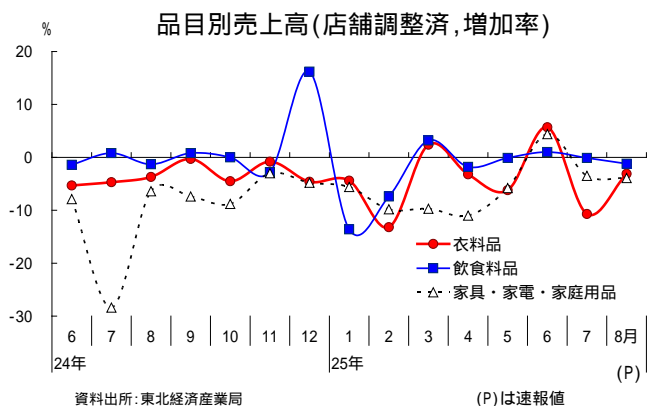
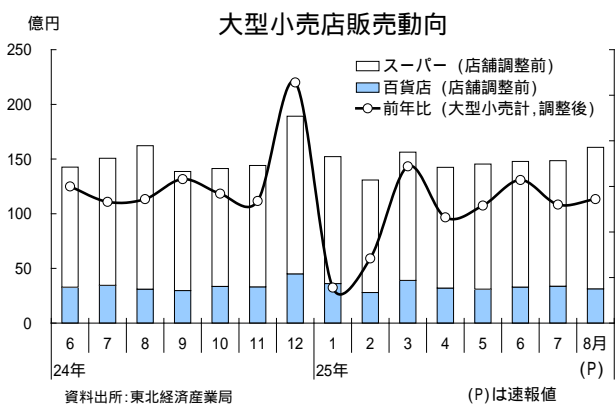
三次産業

大型小売店販売

2ヶ月連続マイナス、前年同月比1.4%減

8月の県内大型小売店販売額(速報ベース、店舗調整後)は、前年同月比1.4%減と2ヶ月連続のマイナスとなった。業態別では百貨店が同0.9%増となったものの、スーパーは同2.0%減となった。品目別では、衣料品が同3.1%減、ウェイトの高い飲食料品が同1.2%減、家具・家電・家庭用品が同3.9%減となった。

衣料品は8月に入って気温が上昇したことから夏物衣料で動きがみられ、百貨店が好調だったものの、スーパーは前年を下回る動きとなった。飲食料品は野菜、菓子などが伸び悩み前年を下回った。家具・家電・家庭用品は気温が高めに推移したことからエアコンなどの家電製品が好調だったものの、家具が不振であった。



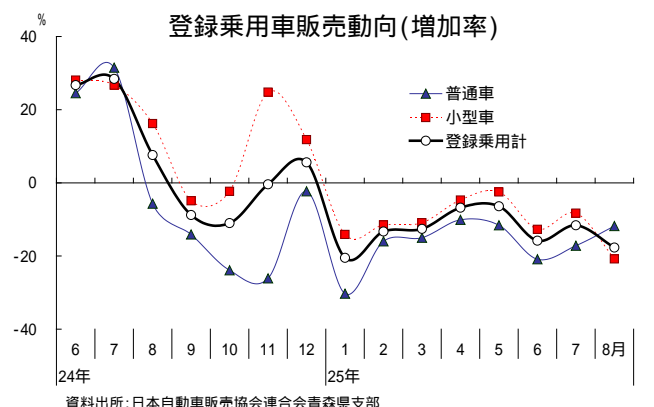
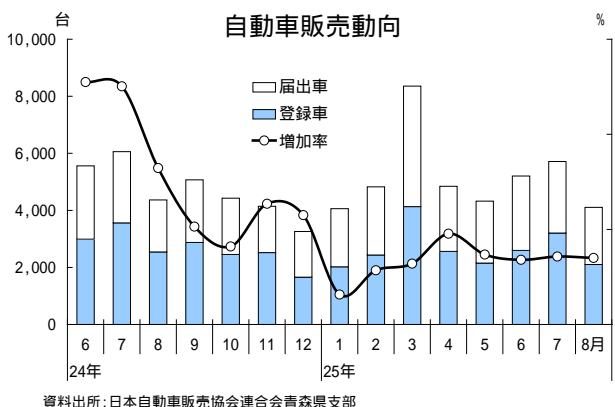
自動車販売

前年同月比6.0%減、8ヶ月連続のマイナス

8月の自動車販売台数は、登録車、届出車(軽自動車)合計で前年同月比6.0%減の4,105台と8ヶ月連続のマイナスとなった。

内訳別にみると、登録車は普通乗用車が同11.8%減、小型乗用車が同20.8%減、貨物車が同23.9%減となり、登録車合計では同17.3%減と8ヶ月連続のマイナスとなった。届出車は乗用車が同11.8%増、貨物車が同4.1%増となり、届出車合計では同9.8%増と3ヶ月連続のプラスとなった。

届出車を含む乗用車については、登録乗用車合計が同17.7%減となり、全体では同6.2%減と8ヶ月連続のマイナスとなった。

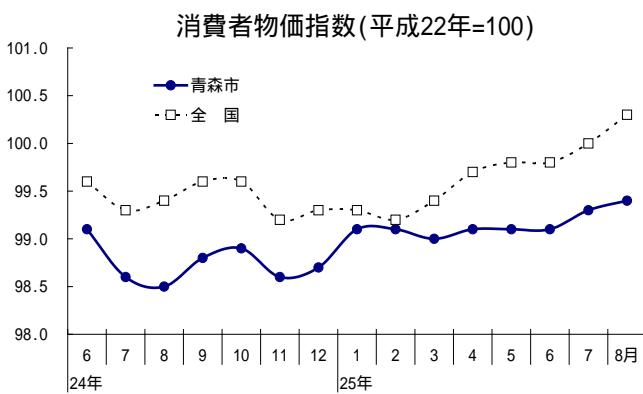


消費者物価指数

前月比 0.1%上昇、前年同月比 1.0%上昇の 99.4

8月の青森市の消費者物価指数(平成22年=100)は前月比0.1%上昇、前年同月比1.0%上昇の99.4となった。主要費目別に前月と比べると、「交通・通信」がガソリンなど自動車等関係費の値上がりにより0.8%、「光熱・水道」が灯油、電気代などの値上がりにより0.7%上昇した。一方、「被服及び履物」は衣類、履物類、シャツ・セーター・下着類などの値下がりにより1.9%下落した。前年同月との比較では「光熱・水道」(5.1%)、「交通・通信」(3.5%)、「被服及び履物」(1.2%)、「家具・家事用品」(4.6%)などの変動が大きかった。

なお、「生鮮食品を除く総合指数」は前月比0.1%上昇、前年同月比0.7%上昇の99.5となった。



資料出所:県統計分析課

費目別指数の動き(平成25年8月)

	指 数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総合指数	99.4	0.1	1.0
食 料	96.8	0.0	0.5
住 居	98.1	0.0	0.1
光熱・水道	112.6	0.7	5.1
家具・家事用品	88.7	0.8	4.6
被服及び履物	97.5	1.9	1.2
保健医療	97.9	0.3	1.0
交通・通信	104.2	0.8	3.5
教 育	96.8	0.0	0.1
教養娯楽	92.6	0.4	0.9
諸雑費	104.2	0.2	0.7

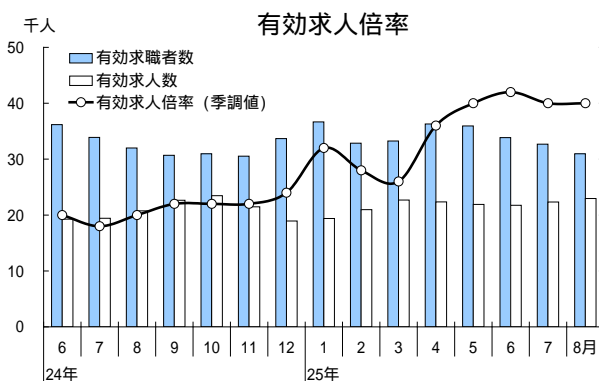
資料出所:県統計分析課

雇用動向

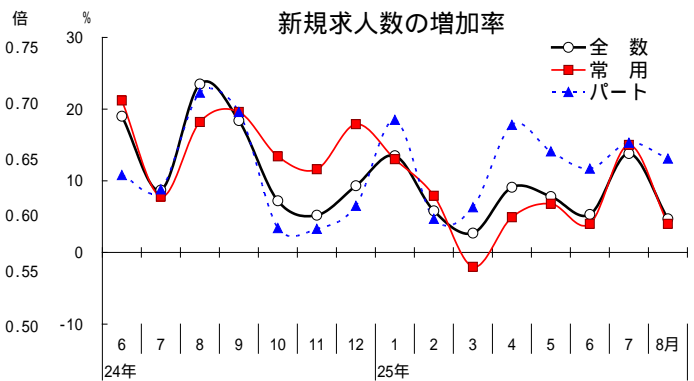
有効求人倍率 4ヶ月連続で 0.70 倍台

8月の求人・求職動向は、有効求人数が前年同月比10.6%増の2万2,959人、有効求職者数は同3.3%減の3万962人となった。この結果、有効求人倍率(季節調整値)は前月比横ばいの0.70倍となった。新規求人の動きをみると、常用求人数が前年同月比4.0%増、パート求人数が同13.1%増、臨時・季節求人数は同10.6%減となり、全数では同4.7%増となった。主要産業別の新規求人動向では電子部品・デバイス、印刷等の製造業や宿泊業などで減少がみられたものの、建設業、情報通信業、小売業、医療業などで増加した。

県内の雇用状況は有効求人倍率が4ヶ月連続で0.70倍台と高水準で推移しており、県内全域で雇用状況の改善が続いている。



資料出所:青森労働局



資料出所:青森労働局

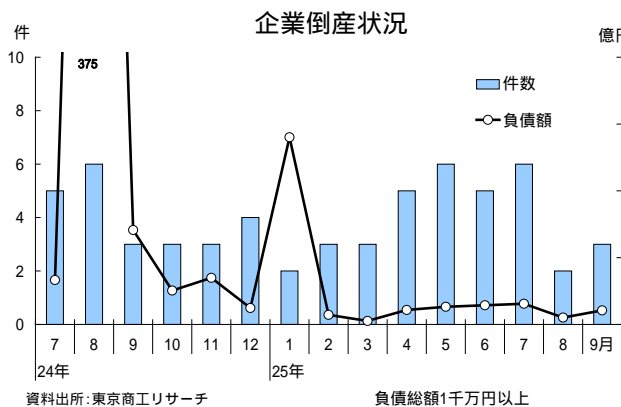
企業倒産

倒産件数、負債総額とも増加したものの、依然小康状態

9月の県内企業倒産は、件数が前年同月比横ばいの3件、負債総額は同24億800万円減の4億2,000万円となった。前月比では件数が1件増、負債総額は2億1,500万円増となった。

倒産の内訳をみると、業種別では製造業、運輸業、サービス業が各1件となった。地域別では青森市、むつ市、上北郡が各1件となった。倒産要因は販売不振が2件、過小資本が1件となった。

当月の県内企業倒産は、件数が30ヶ月連続で1ケタ台にとどまった。件数、負債総額とも前月比で増加に転じたものの、依然として小康状態が続いている。



業種別・原因別件数 (平成25年9月)

業種	件数	原因	件数
一次産業・鉱業		放漫経営	
建設業		過小資本	1
製造業	1	他社倒産の余波	
卸売業		既往のシワ寄せ	
小売業		信用低下	
不動産業		販売不振	2
運輸・通信業	1	売掛金回収難	
サービス業ほか	1	在庫状況悪化	
合計	3	設備投資過大	
		その他	
		合計	3

資料出所: 東京商工リサーチ
(負債総額1千万円以上)

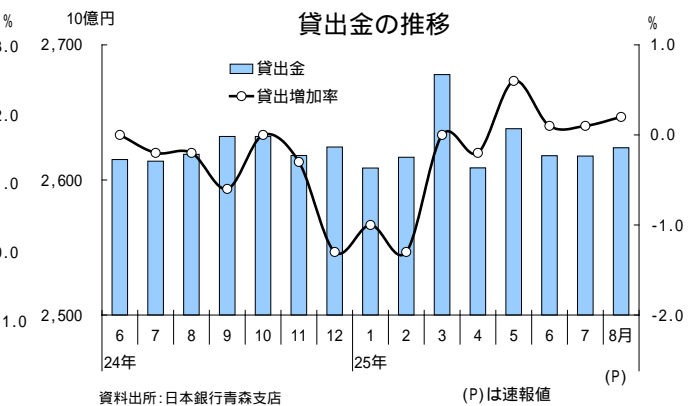
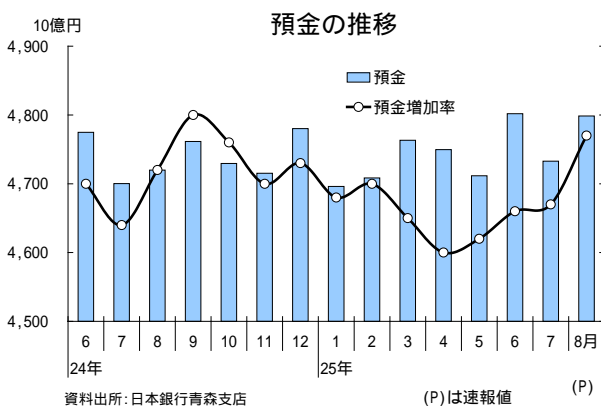
金融動向

預金、貸出金とも4ヶ月連続のプラス

8月末の県内金融機関(銀行・信用金庫・信用組合)の預金・貸出金残高(速報値)は、実質預金が前年同月比1.7%増の4兆7,985億円、貸出金は同0.2%増の2兆6,238億円となり、ともに4ヶ月連続のプラスとなった。

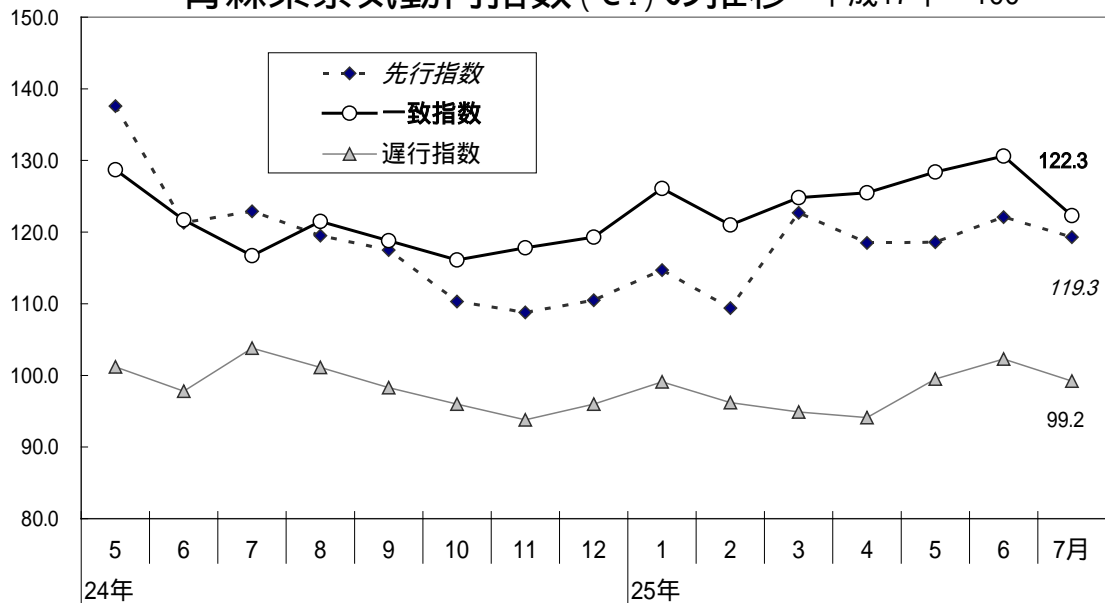
預金は個人預金のプラス幅が拡大したほか、月末が休日だったことにより法人預金のプラス幅が拡大したことから、預金全体のプラス幅は前月比1.0ポイント拡大した。

一方、貸出金は個人向けのプラス幅が幾分拡大したことから、貸出金全体のプラス幅は前月比0.1ポイント拡大した。



青森県景気動向指数

青森県景気動向指数(CI)の推移 平成17年 = 100



資料出所: 県統計分析課

一致指数 採用系列の寄与度

上段: 寄与度がプラスを、マイナスを で表
下段: 寄与度

採用系列名	25年 2月	3月	4月	5月	6月	7月
1. 大型小売店販売額(既存店)	1.33	2.66	2.47	0.51	1.18	1.44
2. 旅行取扱高	0.22	0.35	2.48	0.03	0.04	0.00
3. 鉱工業生産指数	1.49	1.01	1.07	0.33	0.22	2.23
4. 大口電力使用量	2.70	1.02	2.69	0.37	0.24	2.51
5. 有効求人倍率(全数)	1.67	0.92	1.96	1.24	0.44	1.26
6. 輸入通関実績(八戸港)	0.72	0.32	0.47	0.58	0.55	0.05
7. 東北自動車道IC利用台数	1.10	0.06	2.53	0.95	0.39	0.79

資料出所: 県統計分析課

景気動向指数(CI: Composite Index)とは

1. 前月と比較した採用系列の変化量を合成し、基準年度を100として指数化したもので、景気に敏感な指標の量的な動きを合成した指標である。CIには次の3指数がある。

- 先行指数・・・景気に先行して動くことから景気の動きの予測に利用
- 一致指数・・・景気とほぼ一致して動くことから景気の現状把握に利用
- 遅行指数・・・景気に遅れて動くことから事後的な確認に利用

2. CIは景気変動の大きさ(景気の山の高さや谷の深さ)やテンポ(景気の拡張や後退の勢い)を測定する。CIが上昇している時が景気の拡張期(好況)であり、低下している時が景気の後退期(不況)である。

国内景気

概況

国内景気は、緩やかに回復しつつある。個人消費は持ち直し傾向にある。生産は緩やかに増加している。輸出はこのところ持ち直しの動きが緩やかになっている。貿易・サービス収支の赤字は概ね横ばいとなっている。企業収益は大企業を中心に改善している。消費者物価はエネルギーを中心に上昇しており、それを除いた基調としても底堅さがみられる。雇用情勢は改善している。

大型小売店販売（既存店ベース）

- 2ヶ月連続マイナス、前年同月比0.1%減 -

8月の大型小売店販売は前年同月比0.1%減と2ヶ月連続のマイナスとなった。業態別にみると、百貨店が同3.0%増となったものの、スーパーは同1.3%減となった。商品別にみると、衣料品が同0.6%減、その他商品が同0.2%減、飲食料品は同0.1%増となった。

住宅建設

- 12ヶ月連続のプラス -

8月の新設住宅着工戸数は前年同月比8.8%増の8万4,343戸と12ヶ月連続のプラスとなった。利用関係別にみると、持家が同11.2%増と12ヶ月連続、貸家が同7.0%増と6ヶ月連続、分譲住宅が同8.5%増と4ヶ月連続のそれぞれプラスとなった。

企業倒産

- 倒産件数、21年11ヶ月ぶりに850件を下回る -

8月の企業倒産は、件数が前年同月比15.3%減の819件、負債総額は同23.3%減の1,663億円となった。倒産件数は21年11ヶ月ぶりに850件を下回り、10ヶ月連続のマイナスとなった。負債総額は1,000億円の大型倒産がなく、8月としては過去20年間で最少となった。

為替動向

- 9月末終値97円88銭 -

9月の東京為替市場は前月末から大幅反落の99円台でスタート。上旬は99円台の動きが続き、10日には2020年の東京五輪開催決定などから100円台に下落。中旬から下旬にかけては米長期金利低下による日米金利差縮小を意識した円買いなどから98円台へ円高が進んだ。月末にかけては米国政府機構一部閉鎖への警戒感などからドル売りの動きが強まり、月末終値は97円88銭。

鉱工業生産指数

- 前月比0.7%低下の97.2 -

8月の鉱工業生産指数は前月比0.7%低下の97.2(季節調整値)となった。はん用・生産用・業務用機械工業、化学工業(除.医薬品)等が低下に寄与。品目別では普通乗用車、E型半導体集積回路(MRI)等であった。なお、生産予測調査によると、9月ははん用・生産用・業務用機械工業、情報通信機械工業等の上昇により当月比5.2%上昇の予測。

新車販売（除く軽自動車）

5ヶ月ぶりプラス、前年同月比12.4%増

9月の国内新車販売は前年同月比12.4%増の32万4,315台と5ヶ月ぶりのプラスとなった。内訳別では、乗用車が同12.7%増、貨物車が同10.7%増となった。乗用車は普通乗用車が同17.2%増と5ヶ月ぶり、小型乗用車が同8.6%増と9ヶ月ぶりのそれぞれプラスとなった。

完全失業率

前月比0.3ポイント上昇の4.1%

8月の完全失業率は前月比0.3ポイント上昇の4.1%となった。完全失業者数は前年同月比6万人減の271万人となり、39ヶ月連続で減少した。求職理由別にみると、自己都合が同1万人減の101万人、勤め先や事業の都合が同12万人減の57万人などとなった。

消費者物価指数

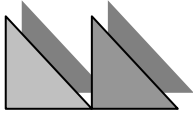
- 前月比0.3%上昇の100.3 -

8月の全国消費者物価指数(2010年=100)は前月比0.3%上昇、前年同月比0.9%上昇の100.3となった。前月に比べ被服及び履物が下落したものの、教養娯楽、交通・通信、食料などが上昇した。生鮮食品を除く総合指数は前月比0.3%上昇、前年同月比0.8%上昇の100.4となった。

国際収支

- 経常収支、黒字幅が大幅に縮小 -

8月の経常収支額は黒字幅が大幅に縮小し、前年同月比63.7%減の1,615億円となった。サービス収支、経常移転収支の赤字幅が縮小したものの、貿易収支の赤字幅が拡大し、所得収支の黒字幅が縮小した。内訳は、所得収支が1兆2,530億円の黒字、一方、貿易収支は8,859億円、サービス収支は1,533億円、経常移転収支は523億円のそれぞれ赤字となった。

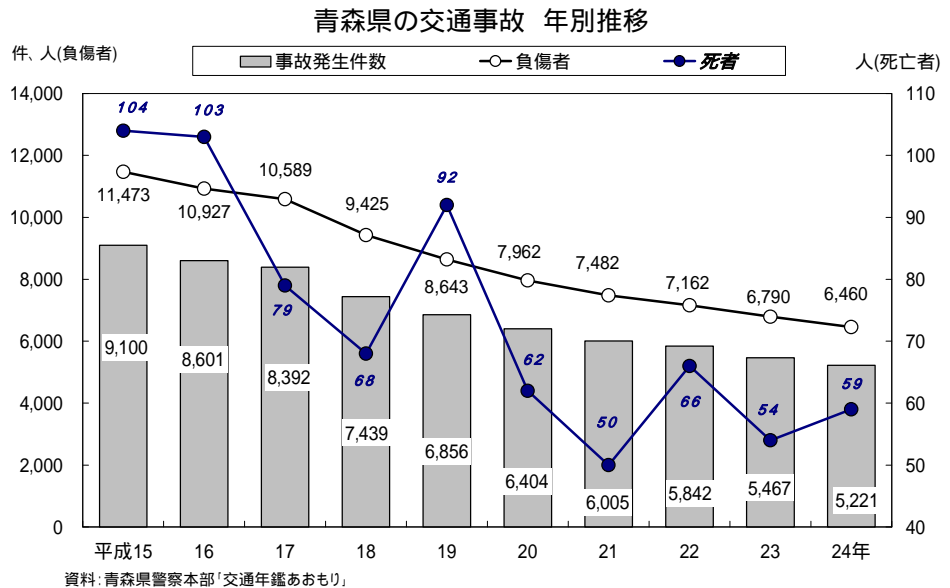


今月の統計

平成 24 年の青森県の交通事故

青森県警察本部の「交通年鑑あおもり」によると、平成 24 年の青森県における交通事故は発生件数が 5,221 件、事故による死者数が 59 人、負傷者数は 6,460 人となった。前年と比べると、発生件数が 246 件減(4.5%)、負傷者数が 330 名減(4.9%)とそれぞれ減少したものの、死者数は 5 名増(+ 9.3%)となった。

発生件数及び負傷者数は、平成 14 年以降、11 年連続の減少となった。一方、死者数は平成 17 年以降 7 年連続で 2 ケタにとどまっており、平成 20 年以降は 60 人前後で推移している。



平成 24 年の青森県における交通死亡事故は死者数が大幅に減少したが、交通死亡事故の内容を分析すると以下のような特徴が挙げられる。

- 65 歳以上の高齢者の死者数が 30 人で全死者数の 50.8%を占めている。高齢者運転による死者数が前年比 4 人増の 12 人であった。
- 歩行中の死者数が前年比 8 人増の 27 人で、うち 15 人が高齢者であった。
- 単独事故による死者数が前年比 6 人増の 17 人であった。
- 「悪質な犯罪」である飲酒運転による死者数は、前年比 5 人減の 2 人となったものの、いまだに発生が続いている。

青森県警察本部はこれらを踏まえ、平成 25 年は悲惨な事故から県民を守るため「交通死亡事故の抑止～最少抑止を目指して～」を目標として掲げており、

- 高齢者対策の推進
- 飲酒運転根絶対策の推進
- 交通ルール遵守対策の推進

の 3 点を推進重点として各種施策、交通安全教育、交通指導取締り等の活動を強力に展開している。

青森県の交通事故死者数 (下段は交通事故死者数全体に占める割合)

	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
65歳以上の高齢者の死者数	24 人 48.0%	45 人 68.2%	24 人 44.4%	30 人 50.8%
高齢運転者による死者数	7 人 14.0%	17 人 25.8%	8 人 14.8%	12 人 20.3%
歩行中の死者数	19 人 38.0%	32 人 48.5%	19 人 35.2%	27 人 45.8%
飲酒運転による死者数	4 人 8.0%	3 人 4.5%	7 人 13.0%	2 人 3.4%

資料: 青森県警察本部「交通年鑑あおもり」

県内・国内トピックス 9月

県内

- 5日 本県の2012年度経常収支比率、前年度比0.4ポイント改善**
県が発表した2012年度普通会計決算によると、財政構造の弾力性を示す経常収支比率は95.8%となり、前年度比0.4ポイント改善(低下)した。
- 13日 2013年度中に100歳となる高齢者、本県は261人**
敬老の日を前にした厚生労働省の発表によると、今年度中に100歳になる高齢者(2013年9月1日現在)は全国で2万8,169人、うち青森県は261人となった。
- 16日 台風18号、被害総額は85億円超**
日本列島を縦断した大型の台風18号は16日夕方から夜にかけて本県に再接近し、県内各地では強風・大雨の被害が相次いだ。県のまとめによると、被害総額は9月30日15時現在で85億264万円に上っており、今後も拡大する見込み。
- 19日 2013年度基準地価、全用途の下落率5.3%**
県が公表した2013年度地価調査によると、1平方メートル当たりの平均価格は全用途で前年度比5.3%下落の2万1,600円となった。住宅地は同5.1%、商業地は同5.9%それぞれ下落した。
県内市町村、15年ぶりに赤字団体ゼロ
県が発表した2012年度普通会計決算見込みによると、鯹ヶ沢町の実質収支が黒字に転換したことから、県内の赤字団体は1997年度決算以来15年ぶりにゼロとなった。
- 20日 8月末の県内新規高卒者の求人、前年同月比4割増**
青森労働局が発表した来春の県内新規高卒者に対する求人状況(8月末現在)によると、県内企業の求人数は前年同月比40.6%増(585人増)の2,027人となった。求人倍率は同0.25ポイント増の0.79倍となり、過去10年間で最高となった。

国内

- 8日 2020年東京オリンピックが決定**
ブエノスアイレスで開催された国際オリンピック委員会(IOC)総会(現地時間7日)で、東京が2020年の第32回夏季オリンピック大会開催都市に決定した。
- 9日 4-6月期のGDP上方修正、年率3.8%増**
内閣府が発表した4-6月期の国内総生産(GDP、季節調整値)の改定値は、物価変動の影響を除く実質で前期比0.9%増、年率換算で3.8%増となり、速報値から実質で0.3ポイント、年率換算で1.2ポイント上方修正となった。
- 13日 月例報告、基調判断を上方修正**
政府は9月の月例経済報告を発表し、景気の基調判断を「緩やかに回復しつつある」と上方修正した。
- 18日 リニア新幹線が始動**
JR東海は2027年の開業を目指し、リニア中央新幹線の東京(品川) - 名古屋間のルートと駅の位置を公表した。2045年までには新大阪まで延伸の予定であり、総工費は9兆円。
8月の訪日外客数、前年同月比17.1%増
政府観光局の発表によると、8月の訪日外客数(推計値)は前年同月比17.1%増の90万7千人となった。また、8月としては過去最高の2010年を10万4千人上回った。
- 19日 8月の貿易赤字9,603億円**
財務省が発表した8月の貿易統計(速報、通関ベース)によると、輸出から輸入を差し引いた貿易収支は9,603億円の赤字となった。赤字は過去最長と並ぶ14ヶ月連続となる。
- 25日 パソコン出荷台数、2ヶ月連続のプラス**
電子情報技術産業協会(JEITA)の発表によると、8月のパソコン出荷台数は前年同月比2.1%増の81万8千台となり、2ヶ月連続のプラスとなった。

全国の主要経済指標

年次及び月	日証券発行高 (平均残高・億円)	国内銀行勘定(月末)		国内銀行貸出約定 平均金利 (年利%)	企業倒産		鉱工業 生産指数 2010年=100	新設住宅 着工戸数 (戸)	公共工事 請負額 (億円)	大型小売店 販売額 (億円)
		実質預金 (10億円)	貸出残高 (10億円)		件数 (件)	負債総額 (億円)				
2007(H19)	754,389	545,043	417,639	1.945	14,091	57,279	114.6	1,060,741		211,988
2008(H20)	760,537	557,055	436,848	1.865	15,646	122,920	110.7	1,093,519		209,511
2009(H21)	764,627	569,486	428,567	1.655	15,480	69,301	86.5	788,410		197,758
2010(H22)	771,516	578,485	420,417	1.551	13,321	71,608	100.0	813,126		195,791
2011(H23)	792,805	598,688	425,858	1.452	12,734	35,929	97.2	834,117		195,933
2012(H24)	809,455	613,690	433,824	1.364	12,124	38,346	97.8	882,797	128,456	195,916
2012(H24) 6	802,079	609,717	426,567	1.409	975	1,816	98.0	72,566	9,803	15,682
7	809,465	604,151	425,035	1.403	1,026	7,241	97.5	75,421	11,165	17,123
8	808,736	603,259	424,583	1.401	967	2,166	96.1	77,500	12,367	15,568
9	806,118	610,343	430,975	1.385	931	1,746	94.0	74,176	13,083	14,700
10	807,704	604,370	427,233	1.383	1,035	2,394	94.3	84,251	12,622	15,672
11	810,887	607,174	428,035	1.378	964	2,638	93.4	80,145	10,270	16,630
12	838,665	613,690	733,823	1.364	890	2,083	94.7	75,944	11,485	21,048
2013(H25) 1	838,266	611,606	432,055	1.358	934	2,246	94.1	69,289	7,119	16,872
2	823,430	614,768	434,083	1.346	916	1,720	94.9	68,969	10,543	14,239
3	828,371	631,290	441,471	1.325	929	1,591	95.0	71,456	18,573	16,598
4	831,109	630,769	436,249	1.321	899	6,860	95.9	77,894	6,370	15,508
5	832,813	632,194	436,493	1.319	1,045	1,733	97.7	79,751	9,682	15,889
6	828,305	635,807	439,885	1.303	897	3,837	94.7	83,704	14,637	16,385
7	834,873	629,734	439,803	1.296	1,025	1,996	97.9	84,459	13,038	17,127
8	835,572			1.291	819	1,663	P 97.2	84,343	14,102	P 15,822
前月比 %	0.1	-1.0	-0.0	-0.005% 引	-20.1	-16.7	-0.7	-0.1	8.2	1.6
前年同月比%	3.3	4.2	3.5	-0.110% 引	-15.3	-23.3	-0.2	8.8	14.0	-0.1
資料出所	日本銀行				東京商工リサーチ		経済産業省	国土交通省		経済産業省

企業倒産は負債額1千万円以上

鉱工業生産指数の前年同月比及び年次は原指数による

公共工事請負額は推計方法を変更、公表値のみ掲載

大型小売店販売額の前月比は季節調整済増減率、前年同月比は既存店ベース増減率

年次及び月	新車登録 届出台数 (乗用車) (千台)	国内企業 物価指数 2010年=100	消費者 物価指数 2010年=100	景気動向 指数 (一致) 2010年=100	完全 失業率 (季調済) (%)	日経平均株価 (東証1部 225銘柄) (円)	国際収支 (経常) (億円)	外貨 準備高 (年月末) (100万ドル)	東京 外為相場 (月中平均) (円/US\$)	日経 商品指数 (月末42種) ('70年=100)
2007(H19)	4,400	101.1	100.7	-	3.9	15,307.78	247,938	973,365	117.77	172.334
2008(H20)	4,228	105.7	102.1	-	4.0	8,859.56	163,798	1,030,647	103.39	147.854
2009(H21)	3,924	100.1	100.7	-	5.1	10,546.44	132,867	1,049,397	93.61	153.228
2010(H22)	4,212	100.0	100.0	-	5.1	10,228.92	171,706	1,096,185	87.75	168.232
2011(H23)	3,525	101.5	99.7	-	4.6	8,455.35	95,507	1,295,841	79.76	165.195
2012(H24)	4,572	100.6	99.7	-	4.3	11,138.66	47,036	1,267,299	79.79	169.679
2012(H24) 6	433	100.4	99.6	104.7	4.3	9,006.78	4,221	1,270,547	79.32	164.232
7	445	99.9	99.3	103.7	4.3	8,695.06	6,625	1,272,777	79.02	163.420
8	316	100.1	99.4	103.2	4.2	8,839.91	4,448	1,273,242	78.66	164.424
9	378	100.4	99.6	101.6	4.3	8,870.16	5,137	1,277,000	78.17	166.262
10	299	100.0	99.6	101.4	4.2	8,928.29	4,208	1,274,160	78.97	163.824
11	324	99.9	99.2	101.0	4.2	9,446.01	-1,796	1,270,848	80.87	166.279
12	284	100.3	99.3	102.7	4.3	10,395.18	-1,228	1,268,125	83.64	169.679
2013(H25) 1	332	100.5	99.3	103.0	4.2	11,138.66	-3,484	1,267,299	89.19	173.500
2	413	101.0	99.2	104.0	4.3	11,559.36	6,497	1,258,809	93.21	174.999
3	571	101.1	99.4	105.0	4.1	12,397.91	12,831	1,254,356	94.75	175.959
4	309	101.5	99.7	105.9	4.1	13,860.86	7,844	1,257,964	97.71	176.051
5	308	101.5	99.8	106.9	4.1	13,774.54	5,666	1,250,243	101.08	177.618
6	379	101.6	99.8	106.6	3.9	13,677.32	3,777	1,238,713	97.43	175.427
7	402	102.2	100.0	107.7	3.8	13,668.32	P 5,773	1,254,033	99.71	176.854
8	311	P 102.5	100.3	P 107.6	4.1	13,388.86	P 1,615	1,254,204	97.87	180.025
前月比 %	-22.7	0.3	0.3	-0.1% 引	0.3% 引	-2.0	-	0.0	-1.8	1.8
前年同月比%	-1.6	2.4	0.9	-	-0.1% 引	51.5	-63.7	-1.5	24.4	9.5
資料出所	自販協連合会	日本銀行	総務省	内閣府	総務省	日経新聞社	財務省		日本銀行	日経新聞社

日経平均株価は年末、月末の終値ベース

青森県の主要経済指標・各種統計 1

年次及び月	人口 (推計)		日銀券発行 (-) 還収超額 (億円)	県内金融機関		企業倒産(負債額1千万円以上)		手形交換高 (百万円)	不渡手形 実数 (百万円)
	(人)	社会動態(人) (転入・転出)		実質預金 (億円)	貸出残高 (億円)	件数 (件)	負債総額 (百万円)		
2007(H19)	1,421,519	-9,993	-557	43,546	28,374	102	30,332	770,111	1,408
2008(H20)	1,406,738	-8,573	-601	43,889	27,585	135	54,700	613,664	4,403
2009(H21)	1,392,976	-6,286	-639	45,183	27,167	102	40,856	475,903	1,093
2010(H22)	1,380,834	-5,082	-1,062	45,718	26,717	79	28,409	462,688	705
2011(H23)	1,371,440	-3,465	-693	47,408	26,781	73	34,830	471,228	550
2012(H24)	1,361,053	-5,311	-1,264	47,633	26,780	57	52,781	491,157	391
2012(H24) 6	1,352,007	34	-218	47,748	26,151	5	2,480	31,877	14
7	1,351,462	-46	-57	47,003	26,139	5	1,330	44,160	32
8	1,350,937	134	-122	47,199	26,190	6	37,514	40,194	18
9	1,350,523	-109	-43	47,615	26,322	3	2,828	32,511	14
10	1,349,968	82	-193	47,295	26,322	3	1,014	47,412	28
11	1,349,295	11	-149	47,153	26,181	3	1,395	39,966	18
12	1,348,616	-159	-515	47,802	26,244	4	492	33,046	15
2013(H25) 1	1,347,650	-121	325	46,961	26,088	2	5,605	47,690	17
2	1,346,535	-274	-134	47,085	26,168	3	286	39,290	48
3	1,345,439	-5,670	-108	47,633	26,780	3	103	33,957	19
4	1,338,972	762	-208	47,496	26,089	5	435	53,238	150
5	1,339,044	-229	34	47,116	26,379	6	529	38,215	73
6	1,338,181	-55	-236	48,018	26,179	5	573	29,714	34
7	1,337,580	6	-64	47,328	26,177	6	620	44,702	76
8	1,337,098	74	-143	P 47,985	P 26,238	2	205	30,741	7
9	1,336,664		-95			3	420		
前月比 %	-0.0	-	-	1.4	0.2	50.0	104.9	-31.2	-90.3
前年同月比%	-1.0	-	-	1.7	0.2	0.0	-85.1	-23.5	-59.0
資料出所	県統計分析課		日本銀行青森支店		東京商工リサーチ		青森県銀行協会		

人口の年は1月1日、月は各1日現在、社会動態は年・月中の計数
 実質預金は手形・小切手を除く、預貸金の年次計数は年度末残高

日銀券の年次計数は年度累計
 手形交換高、不渡手形実数の年次の欄は年度計数

年次及び月	鉱工業 生産指数 (季調済) 2005年=100	新設住宅着工戸数			新設住宅 床面積 (千平米)	公共工事請負額 (百万円)		新規求人 倍率 (倍)	有効求人 倍率 (倍)
		総戸数 (戸)	うち持家 (戸)	うち貸家 (戸)		(百万円)	うち県分 (百万円)		
2007(H19)	110.2	6,139	3,562	2,188	687	188,540	66,071	0.70	0.48
2008(H20)	107.3	6,457	3,305	2,630	672	172,034	60,381	0.57	0.38
2009(H21)	88.1	5,356	3,002	2,084	566	189,665	63,816	0.53	0.29
2010(H22)	100.4	4,708	3,138	1,286	534	187,168	57,357	0.64	0.39
2011(H23)	97.1	4,890	3,051	1,581	518	182,648	54,547	0.75	0.46
2012(H24)	102.2	5,578	3,286	1,844	582	208,618	55,074	0.92	0.61
2012(H24) 6	103.7	612	372	213	66	14,104	4,564	0.86	0.60
7	97.7	541	355	115	60	21,531	6,653	0.88	0.59
8	105.2	474	336	120	53	25,262	7,651	0.91	0.60
9	98.4	630	439	164	71	26,697	11,988	0.90	0.61
10	98.4	636	320	266	61	14,771	5,331	0.88	0.61
11	99.0	458	287	136	49	9,899	2,676	0.88	0.61
12	98.9	461	225	205	43	7,490	1,807	0.90	0.62
2013(H25) 1	110.9	263	121	128	25	6,717	1,151	0.99	0.66
2	105.3	145	96	40	16	5,794	342	0.94	0.64
3	109.1	403	216	159	41	22,940	4,915	0.95	0.63
4	105.2	494	358	115	57	35,443	6,773	1.05	0.68
5	106.4	618	436	151	72	14,136	5,266	1.03	0.70
6	107.2	704	434	225	78	15,904	4,339	1.04	0.71
7	P 100.5	622	397	180	68	28,111	7,573	0.99	0.70
8		612	440	160	68	21,675	7,285	0.95	0.70
前月比 %	-6.3	-1.6	10.8	-11.1	0.0	-22.9	-3.8	-0.04% ｲﾄ	0.00% ｲﾄ
前年同月比%	3.6	29.1	31.0	33.3	28.0	-14.2	-4.8	0.04% ｲﾄ	0.10% ｲﾄ
資料出所	県統計分析課	県建築住宅課			東日本建設業保証		青森労働局		

鉱工業生産指数の年次計数および前年同月比は原指数による
 公共工事請負額の年次の欄は年度計数

求人倍率の年次の欄は原数値の年度計数

青森県の主要経済指標・各種統計 2

年次及び月	大型小売店 販売額 (百万円)	新車 登録台数 (台)	乗用車登録 届出台数 (台)	消費者 物価指数 2010年=100 (青森市)	勤労者世帯 家計消費 支出額 (青森市)(円)	雇用保険		青森県景気 ウォッチャー調査 (現状判断DI)	おおぎん BSI
						受給人員 (人)	受給金額 (百万円)		
2007(H19)	172,288	29,096	44,637	100.0	286,305	-	18,495	-	-
2008(H20)	172,323	27,157	42,722	102.4	291,752	-	17,926	-	-
2009(H21)	165,738	26,929	41,192	100.3	302,596	-	19,497	-	-
2010(H22)	170,306	29,949	42,970	100.0	270,767	-	14,886	-	-
2011(H23)	175,736	26,512	38,137	100.1	287,873	-	14,425	-	-
2012(H24)	181,246	33,496	49,397	99.3	274,133	-	13,071	-	-
2012(H24) 6	14,261	2,991	4,616	99.1	240,529	9,234	1,020	-	-3.5
7	15,071	3,562	4,999	98.6	264,972	9,334	1,003	50.3	
8	16,224	2,544	3,474	98.5	280,611	9,292	1,114	-	
9	13,859	2,875	4,022	98.8	286,719	7,896	838	-	-2.3
10	14,129	2,455	3,534	98.9	268,574	7,576	833	44.0	
11	14,413	2,519	3,330	98.6	250,439	7,292	827	-	
12	18,913	1,660	2,403	98.7	293,191	7,675	813	-	-9.7
2013(H25) 1	15,224	2,023	3,273	99.1	270,339	13,852	2,193	48.8	
2	13,084	2,434	3,988	99.1	260,705	9,557	1,217	-	
3	15,635	4,132	6,814	99.0	314,484	8,150	975	-	-15.9
4	14,242	2,561	3,892	99.1	314,286	8,333	986	57.8	
5	14,542	2,153	3,422	99.1	288,421	9,647	1,213	-	
6	14,778	2,595	4,188	99.1	266,040	8,788	961	-	51.5
7	14,852	3,205	4,662	99.3	264,852	9,255	1,036	-	
8	16,068	2,103	3,259	99.4	253,893	8,939	1,010	-	
前月(期)比%	-	-34.4	-30.1	0.1	-4.1	-3.4	-2.5	-6.3ポイント	-6.2ポイント
前年同月(期)比%	-1.4	-17.3	-6.2	1.0	-9.5	-3.8	-9.3	-	-
資料出所	東北経産局	自販協連合会青森県支部	県統計分析課	総務省	青森労働局	県統計分析課	青森銀行		

大型小売店販売額の前年同月比は既存店ベース増減率

雇用保険の年次の値は年度計数

年次及び月	りんご			漁業 (八戸港水揚高)		貿易 (青森港)		貿易 (八戸港)	
	出荷量 (ト)	市場価格 (円/Kg)	産地価格 (円/Kg)	数量 (ト)	金額 (百万円)	輸出 (百万円)	輸入 (百万円)	輸出 (百万円)	輸入 (百万円)
2007(H19)	297,834	282	184	146,385	24,442	10,837	65,441	127,210	172,534
2008(H20)	312,042	234	136	129,647	23,303	14,006	39,184	144,333	166,315
2009(H21)	288,061	257	144	139,275	21,694	9,692	19,402	113,721	105,780
2010(H22)	297,566	261	168	119,470	23,405	9,244	24,003	151,688	118,867
2011(H23)	215,428	364	214	121,511	21,044	9,178	29,937	111,720	103,081
2012(H24)	274,892	263	164	112,395	18,670	6,785	29,059	107,146	122,288
2012(H24) 6	11,130	435	-	1,144	200	984	1,319	7,479	8,834
7	7,291	487	-	7,440	1,278	546	1,183	4,902	11,112
8	1,825	526	-	24,688	3,498	520	1,892	11,109	10,200
9	16,052	299	171	22,576	2,155	455	1,678	7,985	8,474
10	24,727	246	162	12,995	2,086	691	1,018	9,545	10,823
11	20,706	248	179	18,970	3,719	407	3,880	8,825	8,962
12	23,238	280	144	7,234	16,110	693	2,950	4,764	13,631
2013(H25) 1	30,572	258	140	2,355	580	528	5,264	13,994	12,039
2	33,124	246	134	3,328	657	533	2,804	11,083	14,127
3	34,915	237	127	2,658	613	525	4,541	6,801	10,979
4	33,756	239	155	1,033	371	620	4,214	14,112	12,785
5	23,523	277	-	2,331	445	950	2,072	10,173	11,157
6	17,874	300	-	2,746	385	707	2,057	5,533	11,616
7	11,639	306	-	4,083	877	571	0	16,446	13,080
8	4,336	346	-	11,521	2,704	773	3,245	8,113	10,778
前月比 %	-62.7	13.1	-	182.2	117.5	35.4	-	-50.7	-17.6
前年同月比%	137.6	-34.2	-	-53.3	-22.7	48.8	71.5	-27.0	5.7
資料出所	県りんご果樹課			八戸市水産事務所		函館税関、青森支署・八戸支署			

りんご年次欄はりんご年度の計数

青森県の主要経済指標・各種統計 3

年次及び月	青森県の気象(青森地方気象台)			バスポート 発行件数
	気温 (℃)	降水量(ml)	日照時間(h)	(件)
2012(H24)	10.5	1,295.5	1,669.1	18,765
2012(H24) 7	21.9	243.0	195.7	1,640
8	25.3	47.5	228.2	2,291
9	23.5	76.0	201.3	1,517
10	14.4	115.0	160.3	1,471
11	7.0	205.0	47.1	1,130
12	-0.5	100.5	41.3	1,287
2013(H25) 1	-2.4	127.0	49.3	1,546
2	-1.7	147.5	55.4	1,227
3	2.0	73.0	99.6	1,079
4	7.5	119.0	170.2	1,060
5	12.5	36.5	155.6	977
6	18.1	9.0	232.2	1,161
7	21.8	144.0	136.5	1,407
8	24.7	308.0	185.2	1,749
前月比 %	2.9	164.0ml	48.7h	24.3
前年同月比 %	-0.6	260.5ml	-43.0h	-23.7
資料出所	気象庁			外務省

県内主要都市・地区各種指標

年次及び期	地区別業況BSI		
	青森地区	津軽地区	県南地区
2011 (H23)			
1~3月	-20.7	-31.6	-33.3
4~6月	-10.3	-33.3	-30.4
7~9月	-12.0	-43.6	-15.3
10~12月	2.5	-25.0	-6.3
2012 (H24)			
1~3月	16.3	-8.8	6.9
4~6月	15.9	-5.7	15.3
7~9月	0.0	-21.1	5.3
10~12月	0.0	-17.1	5.6
2013 (H25)			
1~3月	-23.3	-5.3	-1.9
4~6月	-24.0	-23.1	-3.6
7~9月	-26.0	-10.3	3.6
資料出所	青森銀行BSI('13.7~9月期は見通し)		

年次及び月	推計人口 (人)			新車(登録車)販売台数(台) (大型特殊車除く)			新設住宅着工戸数 (戸)		
	青森市	弘前市	八戸市	青森市	弘前市	八戸市	青森市	弘前市	八戸市
2012(H24) 7	296,070	181,400	235,401	954	351	840	163	66	119
8	296,053	181,262	235,562	646	303	495	117	86	94
9	295,957	181,241	235,609	661	354	673	137	115	176
10	295,683	181,275	235,562	622	273	532	116	112	159
11	295,562	181,210	235,621	622	315	500	97	69	134
12	295,361	181,150	235,585	410	233	339	83	79	137
2013(H25) 1	295,145	181,057	235,506	512	219	430	68	10	86
2	294,901	180,908	235,427	587	292	509	10	13	73
3	294,667	180,767	235,346	1,105	487	717	108	33	72
4	292,815	179,449	234,256	589	243	600	119	62	124
5	293,749	180,088	234,376	495	261	438	182	73	110
6	293,602	180,072	234,299	645	310	513	200	90	173
7	293,503	179,953	234,266	842	367	706	141	106	124
8	293,531	179,933	234,253	486	246	460	151	79	112
9	293,422	179,803	234,203						
前月比 %	-0.0	-0.1	-0.0	-42.3	-33.0	-34.8	7.1	-25.5	-9.7
前年同月比 %	-0.9	-0.8	-0.6	-24.8	-18.8	-7.1	29.1	-8.1	19.1
資料出所	青森県統計分析課			自販協連合会青森県支部			青森県建築住宅課		

年次及び月	有効求人倍率 職業安定所別			企業倒産						
	青森市	弘前市	八戸市	青森市		弘前市		八戸市		
	件数	負債額(百万円)	件数	負債額(百万円)	件数	負債額(百万円)	件数	負債額(百万円)	件数	負債額(百万円)
2012(H24) 7	0.45	0.46	0.69	1	100	0	0	0	2	560
8	0.48	0.61	0.71	2	37,268	0	0	0	2	61
9	0.51	0.73	0.78	0	0	1	28	2	2,800	
10	0.53	0.72	0.82	1	66	1	648	0	0	
11	0.51	0.58	0.75	2	1,242	0	0	0	0	
12	0.39	0.43	0.61	0	0	2	142	0	0	
2013(H25) 1	0.38	0.34	0.57	0	0	0	0	2	5,605	
2	0.51	0.40	0.65	1	10	1	76	0	0	
3	0.55	0.47	0.72	1	58	1	20	0	0	
4	0.51	0.44	0.69	2	98	0	0	0	0	
5	0.51	0.43	0.68	3	222	1	92	0	0	
6	0.54	0.48	0.70	1	90	0	0	2	440	
7	0.59	0.48	0.75	2	200	1	200	1	30	
8	0.61	0.52	0.83	0	0	0	0	1	120	
9				1	10	0	0	0	0	
前月比 %	ホイント	ホイント	ホイント	-	-	-	-	-100.0	-100.0	
前年同月比 %	ホイント	ホイント	ホイント	-	-	-100.0	-100.0	-100.0	-100.0	
資料出所	青森労働局			東京商工リサーチ青森支店						

有効求人倍率は原数値による